

# 新潟県立長岡聾学校

## きこえ通信

令和5年度 第11号

当校 HP にも掲載中!  
⇒R4~の通級便り、  
R5.4~のきこえ通信

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

\*18:00頃までをお願いいたします。メールもご利用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail [school@nagaokarou.nein.ed.jp](mailto:school@nagaokarou.nein.ed.jp)

発行：令和6年3月



## 1年間ありがとうございました!

今年度、「難聴についてより多くの方に知ってほしい」という思いから、「きこえ通信」として配付させていただきました。お読みいただきありがとうございます。「いつも読んでいますよ」「知らなかったことを知ることができてよかったです」などと声をかけていただくこともあり、うれしく思いました。来年度も、どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、暖冬とは言え、まだまだ季節は冬です。学校の周辺でも、白鳥の飛ぶ姿が見えたり鳴く声が聞こえたりしています。実は、白鳥は長岡聾学校のシンボルです。由来は日本書紀にある「垂仁天皇の皇子が白鳥をきっかけに話せるようになった」というエピソードによると伝わっています。当校は、校章や生徒会のマスコット、校歌などに白鳥が登場しています。

この時期、卒業学年の児童生徒は次への進路が迫ってくる頃です。新しい環境へ期待と不安が混じり合っていることと思います。白鳥の優しい鳴き声は、そんな子どもたちへのエールのように感じます。

児童生徒の皆さんも、白鳥のように次のステージへ大きく羽ばたいてほしいと思います。このたよりを読んでいる皆さんも、児童生徒へ励ましを届けてほしいと思います。



長岡聾学校  
校章



長岡聾学校生徒会  
マスコット  
「ミライくん」



## 中3の生徒と「きこえのトリセツ」を作りました!

難聴通級は中3で終わりです。高校生になって相談に来てもいいのですが、聾学校としての定期的なきこえのサポートは終わります。高校等へ進学すると、今までのように小さい頃からよく知っていて、気遣ってくれる友達も大幅に減ります。そこで、今まできこえの学習をしてきたことをもとに、「自分のきこえや周囲にお願いしたいことを自分で伝える」ことで、自分で「困り感を減らす環境作り」が大切になってきます。これは、その先の進学や就職等の場面でも同様です。

通級としては、毎年の中3の生徒と「きこえのトリセツ」を作成しています。まず、自分の聴力を確認し、どんな場面でもどのように聞こえるか、困ることは何か、どうしてもらえると助かるか、アンケートに記入します。それから、三つ折りの用紙に記入し、仕上がりはパンフレットのようになります。生徒の気持ちは個人差があり、全部自分から伝える、聞かれたら言う、言わない、などそれぞれですが、「きこえのトリセツ」を作成しておくことで、必要な時に話すことがしっかりできると思います。

令和6年4月から、「合理的配慮の義務化」が始まります。実施に当たっては、自分でお願いすること、お互いに話し合うことが大切とされています。「きこえのトリセツ」作成の経験を生かして、過ごしやすい学校や職場環境を自分で作り出してほしいと思います。

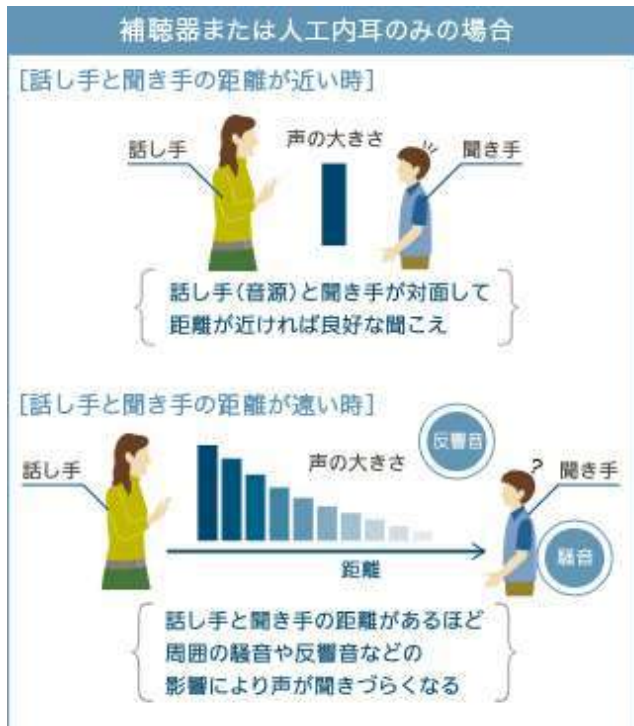


# 補聴援助システム「ロジャー」について

ロジャー



前回のきこえ通信で少し紹介いたしました。難聴のある児童生徒在籍校では、複数の学校が使用しています。補聴器に装着または内蔵した受信機へ、送信機(マイク)から直接話し声を届けるシステムです。詳細は、次の図の通りです。使用方法については、当校で作成したマニュアルをお渡ししています。使用方法等で不明な点は、当校へ お問い合わせくださいますよう、お願いいたします。



フォナック社カタログより

## 3月25日に「終了式」を実施します。

これまでの学びを振り返る機会としたいと思います。過去の終了式実施後に、「同じ立場の人に会えて良かった」、「安心して話せる」などと、生徒たちは喜んでいました。今年度は、中学生のみ、中学生と高校生、難聴のある先輩の話聞く会と3回、全員で集まる機会をもちました。難聴の人は1000人のうち、2~3人くらいと言われていて、数が少ないのです。コロナ禍もあいまって、他の人とのつながりがもちにくいからこそ、仲間との出会いや縁を大切にできればと思います。

内容は、終了証書の授与、当校校長からの言葉、感想発表、簡単なレクリエーションの予定です。欠席の場合、終了証書は3年生は自宅、1、2年生は学校へ送らせていただきます。



## ありがとうございました！

この1年間、通級生徒の保護者の皆様、在籍校の先生方には大変お世話になりました。難聴は見えにくい、理解されにくいと言われています。その分、生徒本人の困り感を聞き、気持ちに寄り添う支援が大切ではないかと考えています。

在校生在籍校の先生方、4月からどうぞよろしく願います。3年生の在籍校の先生方、普段の連絡の他に進学に関わる手続きへのご協力をありがとうございました。今後、再び難聴のある生徒とのご縁がありましたら、これまでのご指導の経験を役立てていただければ幸いです。保護者の皆様、1年間お世話になりありがとうございました。何かありましたらいつでもご連絡をお願いいたします。